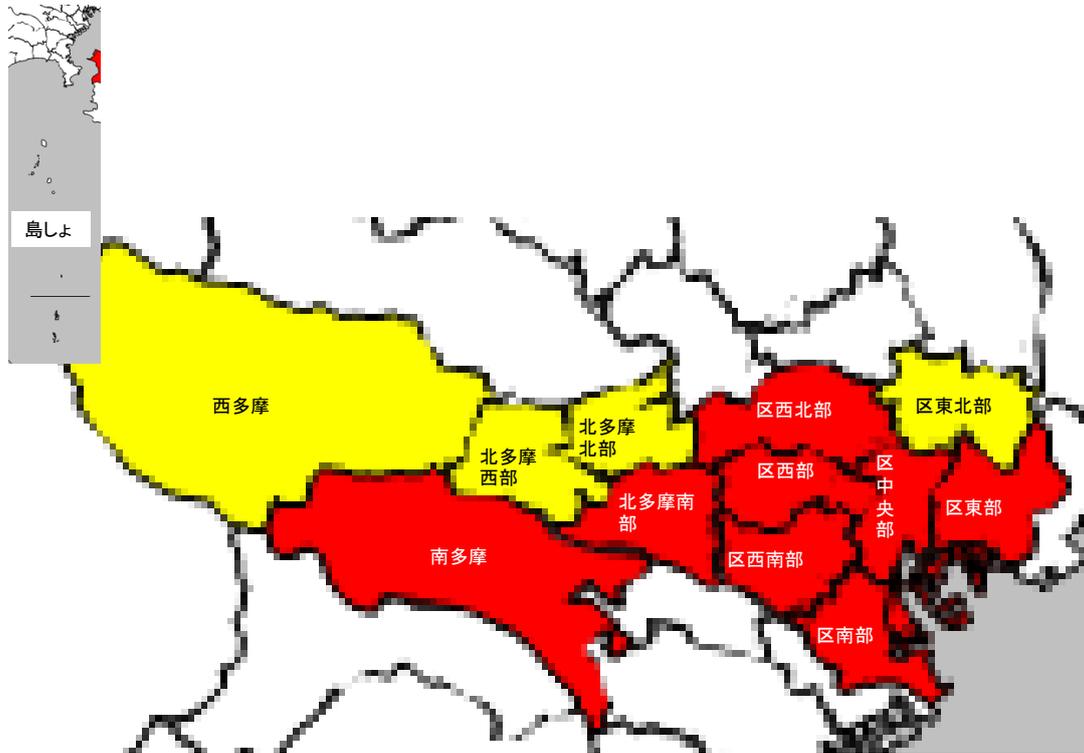


13. 東京都



1 3 東京都

1. 特別区

A. 医療提供体制の現状

特別区には、面積 617 km²、我が国の 0.16%に相当する地域に、895 万人が住んでいる。特別区の特徴は、(1) 日本最大の医療集積地、(2) 高齢者ベッドの極度の不足、(3) 多い医師、少ない看護師、(4) 特別区内でも医療提供水準に大きな差があることである。

(1) 日本最大の医療集積地

特別区を一つの医療圏とみなすと、人口 10 万人当たりの病院勤務医数が 176 人（偏差値 60）、医学部本院が 1 2 あり、特別区は日本最大の医療集積地である。全国の手術の 1 割が特別区で行われ、千葉、埼玉、神奈川の東京周辺のみならず、日本中から多くの患者が高度医療を受けるため、特別区に集まってくる。

(2) 高齢者ベッドの極度の不足

介護を必要とする高齢者にケアを提供してくれる総高齢者ベッド数の偏差値が、特別区全体で 3 5 と低く、一般病床の偏差値 4 8 と比べ、非常に低い。特別区は、医療は充実しているが、高齢者の住居系サービスが、他の地域と比べ突出して不足している。特に、総高齢者ベッド数の区西部の偏差値 2 8、区南部の 3 0 は、危機的な状況と言える。

(3) 多い医師、少ない看護師

東京都全体の病院勤務医の偏差値が 5 5、特別区が 6 0 と、特に都心は医師が集まっている。一方看護師は、東京都全体で 4 5、特別区も 4 5 と、医師とは逆に看護師は全国平均を大きく下回っている。二次医療圏ごとの看護師／医師比率を計算すると、区西部（新宿区、中野区、杉並区）が日本で一番低く、第 2 位が区中央部（文京区、港区など）である。特別区内でも医師が集まらず困っている病院が少なくなくないが、全体的に見れば、特別区は医師が多く、看護師不足である。

(4) 特別区内でも医療提供水準に大きな差

5 つの医学部の本院を抱える区中央部の病院勤務医数の偏差値が 1 4 8、3 つの医学部の本院を抱える区西部の偏差値が 7 9 と突出して高値である。一方、区東北部（足立区、葛飾区、荒川区）の偏差値が 4 0、区東部（墨田区、江東区、江戸川区）の偏差値が 4 2 と、特

別区内にも病院勤務医が少ない医療圏がある。特に区東北部は、中小の医療機関が多いが、医学部が存在せず、年間で全身麻酔を1,000件以上行う基幹病院が2つしかない。その結果、多くの患者が区中央部の大学病院や高機能病院を利用している。同様に、医学部本院の存在しない区東部の患者が区中央部の医療機関を、同じく医学部本院の無い区西南部（世田谷区、目黒区、渋谷区）の患者は、区西部の医療機関をよく利用している。

特別区内は、面積が狭いうえに交通の便もよく、医療圏の枠を超えて受診しても時間がかからないため、多くの患者が医療圏を超えて受診している。また都外から東京へ通勤する人の多くが特別区の医療機関を受診し、特別区の日本を代表する医療機関を受診することを目的とした多くの患者が全国から集まる日本でも特異な地域である。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

（区中央部、区西部）

医学部が、区中央部に5つ、区西部に3つあり、日本を代表する高機能病院が数多く存在する日本で一番の医療が集積された地域である。区中央部の2010年→35年にかけての総人口は1%の減少、区西部は6%の減少であり、人口減少が極めて少ない地域である。一方、75歳以上の人口は、区中央部が54%増、区西部が62%増である。その結果、医療の総需要は、区中央部は21%増、区西部は18%増、75歳以上の医療需要が区中央部54%増、区西部62%増である。この地域は、療養病棟や高齢者を受け入れる非高機能一般病床が少ないので、後期高齢者向けの医療提供体制の充実が求められる。

一方、0-64歳の医療需要は、区中央部が13%減少、区西部が19%減少である。この地域は、関東を中心に日本各地から患者が集まり医療需要の推移予測が、最も難しい地域であるが、日本全体の0-64歳の医療需要が26%減少であることから、この地域の高度医療機関を利用する患者数は、この地域の人口推移から予測される値よりも更に下振れし、0-64歳の医療需要は、この地域の人口動態を元にした予測値以上に減少することが予想される。高機能病床の一部を、回復期や高齢者向けの病床に転換されることが望ましい。

（区南部、区西南部、区西北部）

区南部と区西北部には、それぞれ医学部が2つあり、区西南部は医学部はないが、日本を代表するような医療機関が林立する地域である。この3つの医療圏は、区中央部、区西部のように日本の各地から患者が集まってくるようなことは少ないが、高機能の医療提供体制は充実した地域である。

2010年→35年にかけての総人口は、区南部が9%減、区西南部が1%増、区西北部が6%の減少であり、全国平均と比べて人口減少の少ない地域である。一方、75歳以上の人口は、区南部が55%増、区西南部が68%増、区西北部が98%増であり、現在の1.5倍以上に後期高齢者が増えることが予想される。

総人口があまり変わらず後期高齢者が増える結果、医療の総需要は、区南部は11%増、区南西部は26%増、区西北部は27%増が見込まれる。75歳以上の医療需要が、区南部は55%

増、区西南部は 68%増、区西北部は 98%増である。この地域は、療養病棟や高齢者を受け入れる非高機能一般病床が全国平均よりはるかに少なく、回復期や後期高齢者向けの医療提供体制の充実が求められる。一方、0-64 歳の医療需要は、区南部は 20%減、区南西部は 12%減、区西北部は 24%の減である。高機能医療提供の過剰が予測されるので、高機能病床の一部が、高齢者向けの病床に転換されることが望ましい。

(区東北部、区東部)

この2つの医療圏は、医学部がなく、高機能病院も少なく、人口当たりの病院勤務医、全身麻酔数、看護師が極めて少ない地域である。区東北部の2010年→35年にかけての総人口は16%の減少と都内では飛び抜けて減少率が高く、区東部は1%の減少である。一方、75歳以上の人口は、区東北部が38%増と都内で最も低く、区東部は60%増である。その結果、医療の総需要は、区東北部は0%増、区東部は17%増、75歳以上の医療需要が区東北部38%増、区東部60%増である。この地域は、療養病棟や高齢者を受け入れる非高機能一般病床が都内では豊富なほうだが全国平均より低く、回復期や後期高齢者向けの医療提供体制の充実が求められる。

一方、0-64歳の医療需要は、区東北部が25%減少、区東部が10%減少である。現在は不足気味だが、現状を維持すれば、不足感が緩和される可能性が高い。

2. 特別区外

A. 医療提供体制の現状

特別区外の人口 422 万人であり、人口規模で考えるなら、9 位の福岡県 (507 万人) と、人口規模 10 位の静岡県 (377 万人) の間に位置する。特別区外には、東京の郊外の住宅地域以外に、西多摩の山岳地帯や島しょ地帯もこのエリアに含まれる。

この地域の特徴は、(1) 医療資源の全体的な不足、(2) 特別区や他の医療圏への依存、(3) 特別区からの長期療養や介護を必要とする高齢者の受け入れである。

(1) 医療資源の全体的な不足

特別区外の病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数の偏差値がいずれも 4.5 であり、この地域は人口が多い割に、医療提供が少ない地域と言える。各二次医療圏に基幹病院が存在するが北多摩南部 (三鷹) を除くと、基幹病院の数も不足気味である。

西多摩医療圏の奥多摩地域と島しょは、医療機関も少ないが、人口も少なく、過疎地域である。特に島しょ地域は、日本で最も医療提供体制が不備な地域の一つである。

(2) 特別区や他の医療圏への依存

西多摩を除き各医療圏の面積が狭く、交通の便も良く、東京都内へ通勤する人が多いので、

特別区や他の医療圏の医療機関を受診する人が多い。

(3) 特別区からの長期療養や介護を必要とする高齢者の受け入れ

西多摩、南多摩、北多摩北部は、総高齢者ベッド数、病床数が多く、一般病床数が少ない。この地域には、高齢者施設や療養病床、精神病床が多く、特別区から長期療養の必要な患者や、精神疾患の入院患者を数多く受け入れている。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(南多摩、北多摩西部、北多摩北部)

この3地域の人口当たりの病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数ともに少ない。更に、特別区で仕事をし、病気になったら都心の医療機関を受診していた団塊の世代以降の人達が、大量に定年で退職するようになり、急に地元の医療機関を受診するようになり、しかも有病率の高まる年齢になっていく。更に、この3地域の2010年→35年にかけての総人口の変動は少なく、後期高齢者が激増するので、他の地域からの流入がなくとも、2010年→35年にかけての医療需要は、2割から3割程度増加する。特に75歳以上医療需要は78%から111%という高い伸びを示す一方、0-74歳の2010医療需要は、3%以下の減少に留まる。よってこの地域の医療資源不足が、今後ますますひどくなることが予測される。よって高機能病床も、この地域では増強が必要と思われる。

この地域には、特別区から長期の入院を必要とする高齢者が、数多く流入してくる。回復期や高齢者向けの病床は、現在でも比較的高いレベルであるが、更なる強化が望まれる。

(北多摩南部)

三鷹を中心とする北多摩南部には、特別区外で唯一の医学部があり、人口当たりの病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数が多い。またこの地域は、病病連携、病診連携が進み、都内でも急性期医療の提供が充実した地域であり、周辺地域からの入院患者の流入も多い。

北多摩南部の2010年→35年にかけての総人口は4%の増加、75歳以上の人口は83%増であり、これからの日本社会では珍しい人口増加地域であり、後期高齢者激増地域でもある。その結果、医療の総需要が30%増、0-64歳の医療需要は10%の減少、0-74歳位の医療需要は6%増である。よって高機能病床は現状維持またはやや増強、回復期や高齢者向けの病床が強化されることが望まれる。

(西多摩)

この地域は、人口当たりの特養を中心とする総高齢者ベッド数の人口当たりの数が日本で最も多いが、人口当たりの病床数や病院勤務医数、全身麻酔件数、看護師数ともに少ない。一方、西多摩は、その地域の多くが山間部にも関わらず、総人口8%減、75歳以上人口が78%

増と、人口の推移は周辺の医療圏と大きく変わらない。今後大きな需要増が見込まれる高齢者医療への対応を中心に、医療の増強が必要な地域である。

(島しょ)

人口当たりの医療資源量が日本で最も少ない地域であり、将来の大幅な人口減を考慮しても、医療の増強が必要であろう。

表 13-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
東京都	13,159,388	1位	2,178	45位	6,042.3		20%	-4%	73%
特別区合計	8,945,695	68%	617	28%	14,498.0		20%	-6%	65%
区中央部	757,562	6%	64	3%	11,920.7	大都市型	19%	-1%	54%
区南部	1,058,675	8%	82	4%	12,882.4	大都市型	20%	-9%	55%
区西南部	1,349,960	10%	88	4%	15,359.7	大都市型	19%	1%	68%
区西部	1,190,628	9%	68	3%	17,550.5	大都市型	19%	-6%	62%
区西北部	1,872,170	14%	114	5%	16,432.6	大都市型	20%	-6%	98%
区東北部	1,329,308	10%	98	5%	13,538.1	大都市型	22%	-16%	38%
区東部	1,387,392	11%	103	5%	13,411.2	大都市型	19%	-1%	60%
特別区外合計	4,213,693	32%	1,561	72%	2,699.6		21%	1%	92%
西多摩	395,785	3%	573	26%	691.1	地方都市型	23%	-8%	78%
南多摩	1,419,575	11%	325	15%	4,374.4	大都市型	21%	4%	111%
北多摩西部	641,246	5%	90	4%	7,105.2	大都市型	20%	-2%	91%
北多摩南部	1,001,519	8%	96	4%	10,452.1	大都市型	19%	4%	83%
北多摩北部	727,753	6%	77	4%	9,501.9	大都市型	22%	-1%	78%
島しょ	27,815	0.2%	401	18%	69.4	過疎型	29%	-31%	9%

高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012

(A. 「医療提供体制の現状」、表13-1、表13-2、表13-5、図13-4)

厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H.24.3

(図13-5)

図 13-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）

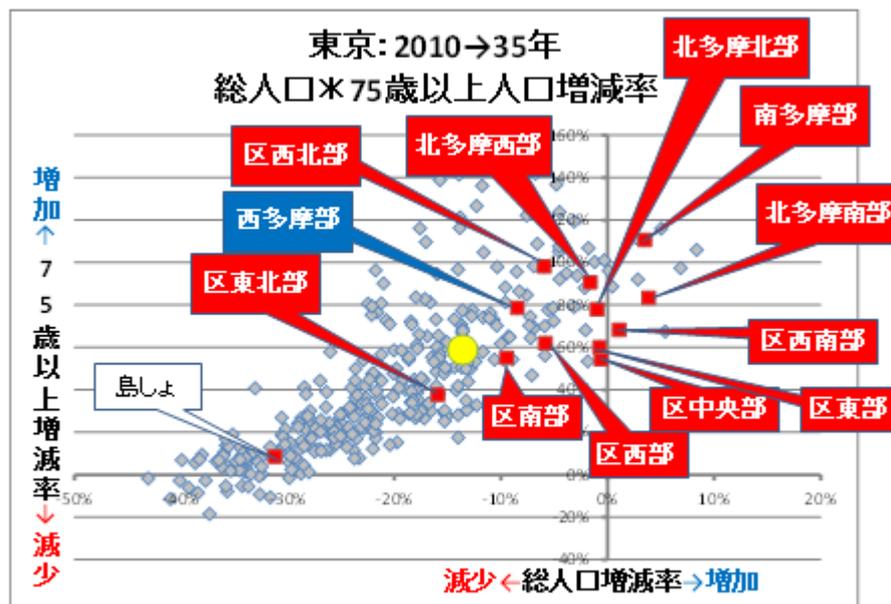


表 13-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
東京都	133,216	8.0%	1,012	44	83,156	9.1%	632	47	96,868	7.2%	80	42
特別区合計	82,262	62%	920	42	60,171	72%	673	48	52,937	55%	64	35
区中央部	14,467	11%	1,910	62	13,365	16%	1,764	93	4,659	5%	68	36
区南部	8,063	6%	762	39	6,402	8%	605	46	5,251	5%	54	30
区西南部	11,713	9%	868	41	7,995	10%	592	45	7,714	8%	62	34
区西部	11,456	9%	962	43	8,996	11%	756	52	5,773	6%	51	28
区西北部	17,555	13%	938	43	10,068	12%	538	43	11,723	12%	65	35
区東北部	10,837	8%	815	40	6,808	8%	512	42	9,341	10%	72	39
区東部	8,171	6%	589	36	6,537	8%	471	40	8,476	9%	76	41
特別区外合計	50,954	38%	1,208	48	22,985	28%	544	43	43,931	45%	111	57
西多摩	6,917	5%	1,748	59	1,703	2%	430	38	8,885	9%	218	109
南多摩	18,216	14%	1,283	50	6,565	8%	462	40	13,683	14%	111	57
北多摩西部	4,655	3%	726	38	3,320	4%	518	42	6,114	6%	107	55
北多摩南部	11,421	9%	1,140	47	6,586	8%	658	48	6,940	7%	77	41
北多摩北部	9,691	7%	1,332	51	4,759	6%	654	48	7,915	8%	108	56
島しょ	54	0%	194	28	52	0%	187	28	394	0%	89	47

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 13-2 病床数（人口 10 万当たり）、総高齢者ベッド数（75 歳以上 1,000 人当たり）

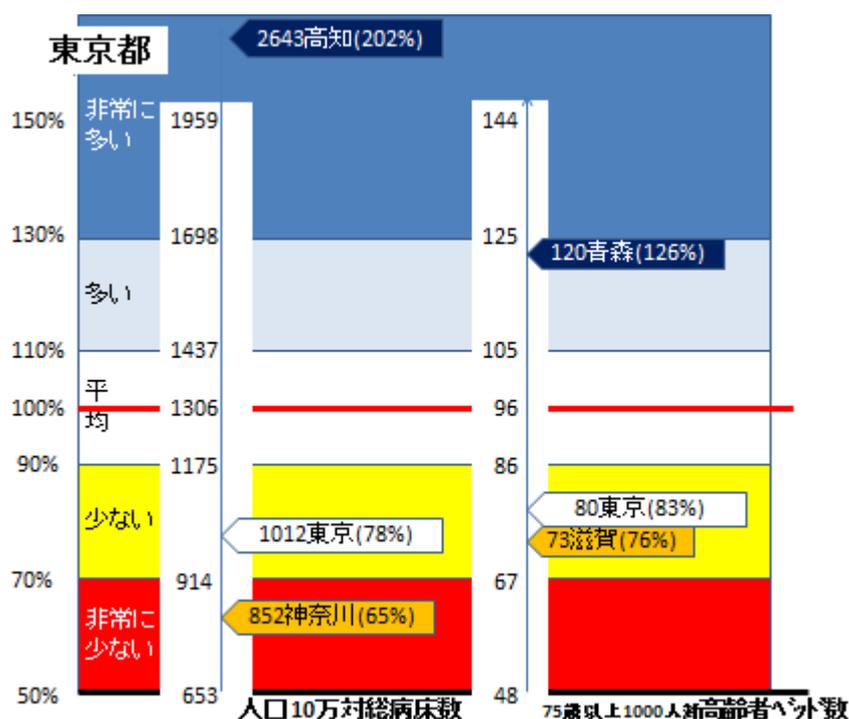


表 13-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
東京都	20,335	6.1%	155	45	4,233	6.9%	32	46	24,558	7.0%	187	46
区中央部	499	2%	66	41	161	4%	21	44	339	1%	45	39
区南部	1,201	6%	113	43	216	5%	20	44	178	1%	17	38
区西南部	1,460	7%	108	43	327	8%	24	45	1,889	8%	140	44
区西部	1,489	7%	125	43	582	14%	49	50	343	1%	29	38
区西北部	3,240	16%	173	46	612	14%	33	46	3,603	15%	192	46
区東北部	1,907	9%	143	44	619	15%	47	50	1,462	6%	110	42
区東部	1,038	5%	75	41	329	8%	24	44	207	1%	15	38
西多摩	2,297	11%	580	65	167	4%	42	49	2,713	11%	685	70
南多摩	3,408	17%	240	49	453	11%	32	46	7,748	32%	546	63
北多摩西部	964	5%	150	45	302	7%	47	50	63	0%	10	38
北多摩南部	1,260	6%	126	44	197	5%	20	44	3,279	13%	327	53
北多摩北部	1,572	8%	216	48	268	6%	37	47	2,734	11%	376	55
島しょ	0	0%	0	37		0%	0	39	0	0%	0	37

表 13-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				療法士数			
	数	県内シェア	人口100万当り	偏差値	数	県内シェア	人口100万当り	偏差値	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
東京都	22	10.8%	1.7	50	16	4.2%	1.2	45	6,089	6.9%	46	44
区中央部	4	18%	5.3	65	6	38%	7.9	64	389	6%	51	45
区南部	2	9%	1.9	51	2	13%	1.9	47	290	5%	27	39
区西南部	2	9%	1.5	50	1	6%	0.7	44	566	9%	42	43
区西部	2	9%	1.7	50	1	6%	0.8	44	582	10%	49	45
区西北部	2	9%	1.1	48	2	13%	1.1	45	849	14%	45	44
区東北部	1	5%	0.8	47	0	0%	0	42	583	10%	44	43
区東部	1	5%	0.7	46	0	0%	0	42	501	8%	36	41
西多摩	1	5%	2.5	54	1	6%	2.5	49	299	5%	76	52
南多摩	2	9%	1.4	49	1	6%	0.7	44	813	13%	57	47
北多摩西部	1	5%	1.6	50	0	0%	0	42	364	6%	57	47
北多摩南部	3	14%	3.0	56	2	13%	2.0	47	446	7%	45	44
北多摩北部	1	5%	1.4	49	0	0%	0	42	405	7%	56	47
島しょ	0	0%	0	43	0	0%	0	42	1	0.0%	4	33

表 13-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数				総看護師数				全身麻酔件数			
	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
東京都	19,868	13%	151	55	73,063	8.7%	555	45	218,720	12%	1,662	53
特別区合計	15,711	79%	176	60	49,801	68%	557	45	176,580	81%	1,974	57
区中央部	4,855	24%	641	148	11,765	16%	1,553	90	59,172	27%	7,811	131
区南部	1,447	7%	137	53	5,103	7%	482	42	15,804	7%	1,493	51
区西南部	1,808	9%	134	52	6,951	10%	515	44	22,766	10%	1,686	54
区西部	3,276	16%	275	79	7,449	10%	626	49	32,334	15%	2,716	67
区西北部	2,233	11%	119	49	8,760	12%	468	41	21,538	10%	1,150	47
区東北部	946	5%	71	40	4,715	6%	355	36	7,116	3%	535	39
区東部	1,146	6%	83	42	5,059	7%	365	37	17,850	8%	1,287	49
特別区外合計	4,157	21%	99	45	23,261	32%	551	45	42,140	19%	1,000	45
西多摩	384	2%	97	45	2,452	3%	619	48	3,800	2%	960	44
南多摩	1,139	6%	80	42	7,184	10%	506	43	11,008	5%	775	42
北多摩西部	471	2%	73	41	2,642	4%	412	39	7,550	3%	1,177	47
北多摩南部	1,532	8%	153	56	6,987	10%	698	52	14,568	7%	1,455	51
北多摩北部	625	3%	86	43	3,972	5%	546	45	5,214	2%	716	41
島しょ	6	0.0%	22	31	25	0.0%	90	24	0	0%	0	32

図 13-5 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数（東京都、特別区外）



図 13-6 二次医療圏（流入出）

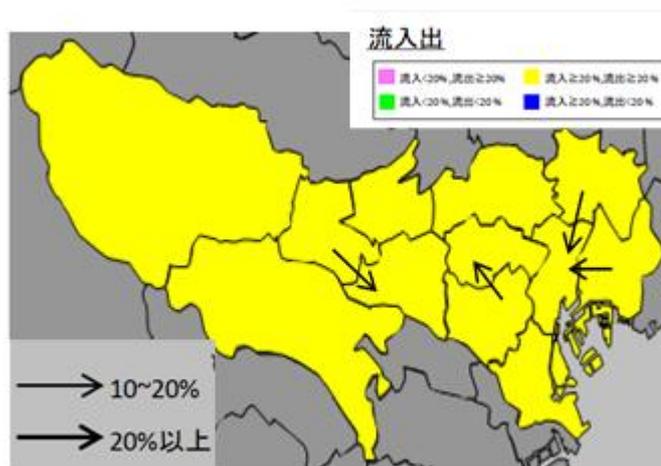


表 13-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	老人保健 施設収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	特別養護 老人ホーム 収容数 (再掲)	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
東京都	47,807	6.8%	39	41	14,314	4.6%	12	32	33,493	8.5%	28	49
区中央部	1,895	4%	28	31	439	3%	6	22	1,456	4%	21	43
区南部	2,392	5%	25	28	670	5%	7	23	1,722	5%	18	40
区西南部	2,961	6%	24	27	793	6%	6	22	2,168	6%	17	39
区西部	2,337	5%	20	24	508	4%	4	19	1,829	5%	16	38
区西北部	5,547	12%	31	33	1,744	12%	10	28	3,803	11%	21	43
区東北部	4,540	9%	35	37	2,008	14%	16	39	2,532	8%	20	41
区東部	4,309	9%	39	40	1,901	13%	17	41	2,408	7%	22	44
西多摩	7,462	16%	183	165	950	7%	23	52	6,512	19%	160	180
南多摩	6,607	14%	53	53	2,025	14%	16	40	4,582	14%	37	59
北多摩西部	3,033	6%	53	52	1,135	8%	20	46	1,898	6%	33	55
北多摩南部	2,632	6%	29	32	1,172	8%	13	34	1,460	4%	16	38
北多摩北部	3,778	8%	52	51	969	7%	13	35	2,809	8%	38	60
島しょ	314	1%	71	68	0	0%	0	11	314	1%	71	92

表 13-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者 住宅数 合計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	有料老人 ホーム計	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
東京都	49,061	7.7%	40	47	27,463	11.6%	22.6	55	5,768	3.7%	4.7	39
区中央部	2,764	6%	40	47	1,035	4%	15.1	48	302	5%	4.4	39
区南部	2,859	6%	29	41	1,783	6%	18.4	51	444	8%	4.6	39
区西南部	4,753	10%	38	46	3,396	12%	27.3	60	368	6%	3.0	36
区西部	3,436	7%	30	42	1,819	7%	16.0	49	408	7%	3.6	37
区西北部	6,176	13%	34	44	3,984	15%	21.9	55	888	15%	4.9	40
区東北部	4,801	10%	37	45	2,252	8%	17.4	51	854	15%	6.6	42
区東部	4,167	8%	38	46	2,603	9%	23.5	56	722	13%	6.5	42
西多摩	1,423	3%	35	44	486	2%	11.9	46	153	3%	3.7	38
南多摩	7,076	14%	57	57	4,377	16%	35.4	67	564	10%	4.6	39
北多摩西部	3,081	6%	54	55	1,253	5%	21.9	55	312	5%	5.4	40
北多摩南部	4,308	9%	48	51	2,923	11%	32.2	64	385	7%	4.2	38
北多摩北部	4,137	8%	57	56	1,531	6%	21.0	54	359	6%	4.9	40
島しょ	80	0%	18	35	21	0%	4.7	39	9	0%	2.0	35

表 13-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域区分	2010→35 総医療 需要	2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	2010→35 総介護 需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
東京都		21%	-16%	25%	-3%	73%	64%
区中央部	1	21%	-13%	50%	6%	54%	51%
区南部	1	11%	-20%	18%	-8%	55%	48%
区西南部	1	26%	-12%	53%	6%	68%	64%
区西部	1	18%	-19%	34%	-3%	62%	56%
区西北部	1	27%	-24%	31%	-6%	98%	86%
区東北部	1	0%	-25%	-2%	-17%	38%	31%
区東部	1	17%	-10%	23%	1%	60%	52%
西多摩	2	17%	-22%	1%	-13%	78%	66%
南多摩	1	31%	-10%	14%	-1%	111%	93%
北多摩西部	1	25%	-16%	23%	-3%	91%	78%
北多摩南部	1	30%	-10%	45%	6%	83%	76%
北多摩北部	1	24%	-14%	20%	-2%	78%	68%
島しょ	3	-16%	-41%	-24%	-35%	9%	5%

図 13-7 東京都 2010年→35年介護医療需要の増減予測

